ヒメマルカツオブシムシ 毛織物が大好きな虫



発生

多い

気づかないらちに、ウールの服に穴が開いていたいする、その犯人の多くは、ヒメマルカツオブシムシの幼虫です。この幼虫は、毛織物、毛糸、羽毛、干魚、動物標本等、主として動物質のものを食害します。特に、繊維製品を好んで食害しますが、動物繊維を混紡するベンベルグ、アセテート等も対象とします。



成虫は、食害するものに産卵し、産卵後、 野外に移動し、菊科の花(マーガレット、ヒメ ジオン)に集まり、花粉や花蜜を食べます。 孵化した幼虫は、太ったウジ状で、活発に動き まわります。

越冬場所は、加害物の中や付近の隙間で、幼虫で越冬します。

被害

幼虫は、暗い場所を好み、押入れやタンスの中での被害が多くみられます。

また、幼虫の時期を室内で過ごし、春から 初夏にかけて成虫になりますが、この時期、 室内に多数の成虫が見つかる場合は、既に 被害を受けていることが多いので、よく調べる 必要があります。

対 策

ごく普通に見られる虫なので、野外からの 侵入を防止することは困難といえます。また、 ウール製品や毛糸は、防虫剤を入れた密封袋 等に収納するのが、最も良い方法となります。

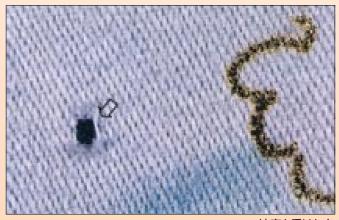


成虫(体長約3mm)



若い幼虫

成熟した幼虫(体長約5mm)



被害を受けた布

(写真提供:東京都)